

事業の背景・目的

ニホンイヌワシは狩場適地及び餌動物の減少や、大規模開発による生息環境の減少が理由で個体群の安定的な存続が危ぶまれている。そこで、繁殖地における保護対策の強化と併せて適切な施設において飼育、繁殖を行い、飼育下での個体群の維持を図るとともに、九州で唯一のニホンイヌワシ飼育園として、ニホンイヌワシの飼育繁殖を通じて生物多様性保全における生息域外保全取組みの認知度を高めていくことを目的とする。

事業の内容

平成30年度（2018年度）

概要：ニホンイヌワシの飼育繁殖に向けて必要な環境を整備する。

- ア 飼育獣舎整備事業
 現在の猛禽舎をニホンイヌワシの飼育繁殖に適した施設へと改修する。
- イ ニホンイヌワシの導入
 繁殖可能な個体を導入するため、ニホンイヌワシの輸送を行う。
- ウ 普及啓発事業
 ニホンイヌワシの生態や保護の必要性を啓発するため、説明パネルを設置する。



得られた成果

- ・イヌワシ舎の改修を実施し、ニホンイヌワシのオス個体を導入した（秋田市大森山動物園 愛称：一颯）。
- ・普及啓発のための説明パネルを作成し、設置を行った。
- ・生息域外保全、保護増殖事業の啓発ガイド等を行った。

